

干瓜并香子梅むぎなど御所々々より參、月日不定、

十六日

瓜遍照院進上之、月日不定、

五月六月七月中、三籠瓜、次に三籠、次に十籠、次に三十籠、次に五十籠、次に百籠、佐々木六角進上之、

六月廿四日

瓜日吉樹下進上之、日不定、瓜水主備前守進上之、日不定、

〔御湯殿の上の日記〕慶長九年六月廿六日、しやうぐん○徳川家康より、うりのひげこ三つ參る、

〔寛政四年武鑑〕尾張大納言宗睦卿○尾張古屋時獻上、六月内上條瓜

〔官中秘策十九年中行事〕年中諸大名獻上物之事

六月暑中之獻上ニ此月ニ入ル

一熟瓜

暑中

青山下野守

一熟瓜

暑中

三宅肥後守

一熟瓜

加納遠江守

〔執政所抄下七月〕七日

乞巧奠

供物○中

瓜以白瓜○飯鉢盛之、一裹

〔續々東大寺正倉院文書四十六帙六〕藍園熟瓜等送進文

菜。苳。壹伯貳拾果

天平勝寶二年七月四日

倉垣三倉

〔類聚雜要抄一〕宇治平等院御幸御膳元永元年九月廿四日、大殿藤原忠實被下御日記定、

三寸五分様器○中